

《Lesson 4》「丁寧な命令文」と「提案・勧誘を表す命令文」

また、命令文には以下の内容を表すことができます。

(1) 丁寧な命令(依頼)

<例> 窓を開けてください 名前を書いてください

(2) 提案・勧誘

<例> サッカーをしましょう ここで食べましょう

(1) 丁寧な命令文(依頼)

丁寧な命令文は「～してください」「～しないでください」と言いたい時に使われます。ここでポイントとなるのが please という単語。これを肯定文・否定文関係なしに命令文に足してあげれば完成となります。足す場所は、文頭が多いのですが、文の最後にカンマを伴って足すこともできます。

【丁寧な命令文:基本の形】

Please + 一般動詞の原形 + be + ~.

(～してください / ～でいてください)

Please + don't (do not) + 一般動詞の原形 + be + ~.

(～しないでください / ～でいないでください)

<例> Please come here at noon. (あるいは、Come here at noon, please.)

<正午にここに来てください>

Please be quiet. (あるいは、Be quiet, please.)

<静かにしてください>

Please don't touch this. (あるいは、Don't touch this, please.)

<触らないでください>

Please don't be noisy. (あるいは、Don't be noisy, please.)

<うるさくしないでください>

【作り方】

ステップ①: 命令文を作る。

ステップ②: 文の先頭に **Please** を足す(あるいは、文の最後に **, please** を足す)。

<例 1>「正午にここに来てください」という文を作る場合。

ステップ①: 命令文を作る。「正午にここに来て」

Come here at noon.

ステップ②: 文の先頭に **Please** を足す(あるいは、文の最後に **, please** を足す)。

Please come here at noon. (Come here at noon, please)

<例 2>「うるさくしないでください」という文を作る場合。

ステップ①: 命令文を作る。「うるさくしないで」

Don't be noisy.

ステップ②: 文の先頭に **Please** を足す(あるいは、文の最後に **, please** を足す)。

Please don't be noisy. (Don't be noisy, please)

(2) 「提案・勧誘」を表す命令文

「提案・勧誘」を表す命令文は「～しましょう」「～しないでおきましょう」と言いたい時に使われます。今回使われるのは let's という単語。肯定文(～しましょう)の場合、“let's + 命令文”で完成なので、簡単なのですが、否定文の場合“let's not + 命令文”となり“let's don't + 命令文”にはならないので注意する必要があります。

【提案・勧誘を表す命令文:基本の形】

Let's + 一般動詞の原形 + ~.
be
(～しましょう)

Let's not + 一般動詞の原形 + ~.
be
(～しないでおきましょう)

<例> Let's go to the station. <駅に行きましょう>

Let's not use this computer. <このパソコンは使わないでおきましょう>

【作り方】

ステップ①: **肯定**の命令文を作る。

ステップ②: 「しましょう」(肯定文)の場合は、**Let's** を文頭に足す。

「~しないでおきましょう」(否定文)の場合は、**Let's not** を文頭に足す。

<例 1>「駅に行きましょう」という文を作る場合。

ステップ①: **肯定**の命令文を作る。「駅に行って」

Go to the station.

ステップ②: 「しましょう」(肯定文)の場合は、**Let's** を文頭に足す。

Let's go to the station.

<例 2>「このパソコンは使わないでおきましょう」という文を作る場合。

ステップ①: **肯定**の命令文を作る。「このパソコンを使って」

Use this computer.

ステップ②: 「~しないでおきましょう」(否定文)の場合は、**Let's not** を文頭に足す。

Let's not use this computer.